



国際会議開催のご案内

ISO/TC211 第27回 総会
2008年12月1日～5日**同時開催（仮称）地理情報標準公開セミナーつくば（12月3日）**

測技協は平成5年より、国際標準化機構（ISO）に設置された地理情報の標準化に関する専門委員会（ISO/TC211）の国内審議団体（ISO/TC211国内委員会）として活動を続けておりますが、このたび、ISO/TC211第27回総会（国際会議）を日本で開催することが、同第25回総会（中国・西安）にて決定致しました。本総会（国際会議）の主催者はISO/TC211、日本工業標準調査会（JISC）およびISO/TC211国内委員会となりますが、会議開催にあたっては関係機関および会員各社等のご支援を得て、測技協が事務局を務めます。また、この機をとらえて一般の方を対象とした空間データ整備・活用、地理情報の標準化等に関する公開セミナーを併催いたします。

地理情報標準に関しては、昨年成立した地理空間情報活用推進基本法に基づく基盤地図情報の提供時に使用する規格が定められるなど、ISO/TC211活動の成果が世界に先駆けて公的にも生かされようとしております。

今後のわが国の測量・地図データ整備・GIS活用等の事業に深く関わるISO/TC211の活動にご理解を賜り、本総会（国際会議）の開催につきまして、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

概 要**●ISO/TC211 第27回 総会（国際会議）**

開催日：2008年12月1日（月）～5日（金）

開催地：つくば国際会議場

主 催：ISO/TC211、日本工業標準調査会、ISO/TC211国内委員会

事務局：財団法人日本測量調査技術協会

会議内容：海外メンバー約100名（参加国約30カ国）国内メンバー約20名によるWGミーティング、編集委員会、上記メンバーおよびスポンサーによるワークショップならびに総会

●（仮称）地理情報標準公開セミナーつくば

開催日時：2008年12月3日（水） 10：00～17：00（予定）

開催地：つくば国際会議場 大ホール

セミナー概要：地理情報の標準化活動についてのわかりやすい実践セミナー

ISO/TC211海外および国内委員メンバーによるレクチャー（同時通訳あり）、事例紹介等

ISO/TC211とは？

国際標準化機構（ISO）において、1994年4月に211番目のTC（Technical Committee）と

して設置された、地理情報に関する国際規格の策定や改定を検討する専門委員会です。

ISO/TC211には、日本を含む投票権を有する正式メンバーとして30ヶ国、オブザーバーとして31の地域と国が参加しており、1年に2回の総会を開催しています。日本では1999年（平成11年）9月に第9回総会が京都で開催されました。

専門委員会は参加国から推薦された専門家により、各作業項目につい

て、検討結果を原案（ドラフト）の形にまとめ、都度、各国に意見照会をし、投票にかけるなどして作業を進めています。各作業項目毎に、中立的な立場から原案作成に責任を持つプロジェクトリーダーが、専門家の意見を調整し、原案作成に中心的な役割を果たしています。ISO/TC211による標準化作業は当初20の作業項目で開始されましたが、検討途中の合併や追加を経て、現在では、約50項目を数え、その中の、19105「適合性及び試験」と19114「品質評価手順」の2つの作業項目は、それぞれ、日本の今井浩東京大学教授、柴崎亮介東京大学教授がプロジェクトリーダーを担当されました。「適合性と試験」は全作業項目に先駆けて、2000年12月に国際規格（IS）：「地理情報—適合性及び試験（ISO 19105）」に制定されました。

※ISO/TC211国内委員会の活動については <http://www.sokugikyo.or.jp/iso.html>をご覧ください。

協賛募集

本総会開催についてのご協賛を広く募集いたします。

ご協賛にあたっては、会議参加メンバーへの配布資料等に、貴機関（会社）のお名前を掲載させていただきます。また、参加メンバーへのスポンサーグッズのご提供も歓迎いたします。

協賛のお問い合わせはISO/TC211第27回総会実行委員会事務局（測技協）まで、よろしくお願い申し上げます。



ISO/TC211第25回総会（西安）



ISO/TC211第19回総会（パランツァ）